

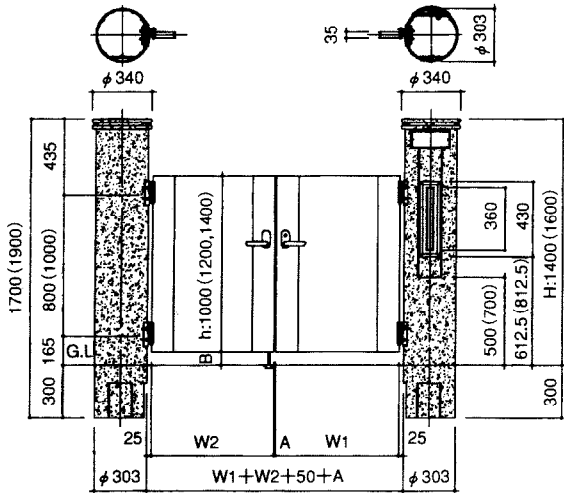
- 新日軽の製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読み下さい。

- 施工が完了しましたら本説明書をお施主様にお渡し下さい。

■ 納まり図

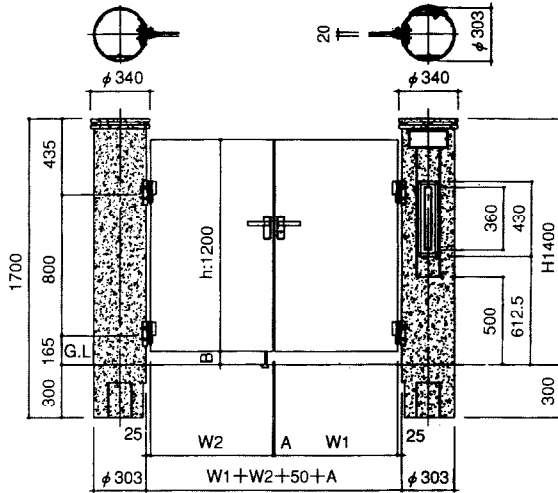
□ 形材門扉 両開き納まり

- H=1400(門扉高さh:1000)
- H=1600(門扉高さh:1200又は1400)



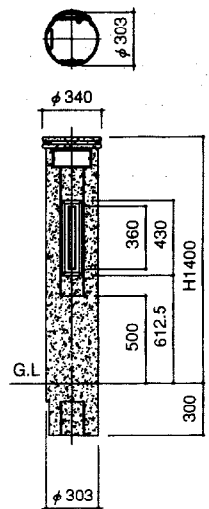
□ 鋳物門扉 両開き納まり

- H=1400(門扉高さh:1200)



□ 独立柱納まり

- H=1400



召合せ部チリ(A)・下部チリ(B)寸法表

門扉商品名	A	B
ビーイズム	8	100
モノクロームDX	8	80
峻岳	10	100
エクシス・高雅・スーパー有峰 マルス・アルネット・モノクローム	10	75
鋳物門扉(MV2を除く門扉高さH=1200のみ)	10	75

- 注)「形材門扉h=1400」を吊る場合は、門柱高さH=1600をご使用ください。(ヒンジピッチは1000でご使用ください)
- 注)「鋳物門扉」は門扉高さH=1200のみ吊り込み可能です。
- 注)「MV2鋳物門扉」は吊り込み出来ません。
- 注) 門柱の外径φ303は塗装厚を含む寸法です。(塗装を含まない本体寸法はφ300となります)
- 注) 片開きはできません。
- 注) 電気錠はご使用できません。

■安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと…この取扱説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

注 意 事 項

- ・本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- ・郵便ポストの付いているタイプでは、このポストの上には乗らないでください。変形したり、使用上に支障をきたす場合があります。
- ・ポストの投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
- ・投函物を取り出す際は、手や指に注意してください。
- ・開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

- ・門扉を通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒のついている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
- ・開閉時には手足、衣服などを挟まないよう、注意してください。
- ・扉に物を載せないでください。
- ・扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- ・年に1回、ネジやボルトのゆるみがないか、確認してください。

■ 梱包内容

必ず御確認下さい。

名称	1セット当たりの部品明細	入数
標準吊元門柱	—	R又はL1本入り
ポスト付き吊元門柱(R,L)	—	R又はL1本入り
ポスト付き独立柱	—	1本入り
ヒンジセット (形材用)	持ち送り ヒンジピン ワッシャー 割ピン 調整ライナー M10×35六角ボルト M10平座金・ばね座金 ヒジツボ ネジ持ち M18×16六角ボルト M8平座金・ばね座金	1 1 1 1 4 2 各2 1 1 2 各2

名称	1セット当たりの部品明細	入数
ヒンジセット (鋳物用)	持ち送り ヒンジピン ワッシャー 割ピン 調整ライナー M10×35六角ボルト M10平座金・ばね座金 スライドヒンジ	1 1 1 1 4 2 各2 1
門柱キャップ	門柱キャップ M4×25ナベセルフビス 取付説明書	1 3 1
サインプレート	ホームプレート 表札シール M4×13サワセルフドリリングビス	1 1(アルファベット各3文字) 2

注) 外観右吊元用を(R)、左吊元用を(L)としています。

■ お手入れ方法について

本商品はアルミ押し出し形材表面に有色骨材を吹き付け塗布したものです。アルミ押し出し形材表面はJIS規格を十分にクリアした表面処理をし、その表面に外壁・外構等で使用される「有色骨材入り特殊アクリル樹脂」塗装を施していますが、付着した汚れを長期間放置しておくと腐食の原因や変質・変色の原因となります。定期的なお手入れをお願い致します。

お手入れの際の注意

- 柔らかいブラシやスポンジ等で水洗いをして汚れを落とします。
- 又、泥や土の跳ね返りなどで汚れた時は、水で洗い流してから一般掃除用中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、あとは洗剤が残らないよう水で洗い流してください。
- ▶お手入れにはクレンザー、磨き粉、金属ブラシ、スチールウール、たわし、ヤスリなどのご使用は避けて下さい。表面を傷つける恐れがあります。
 - ▶汚れを落とす時にシンナー・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。
 - ▶洗剤は中性洗剤を薄めてご使用下さい。酸性洗剤やアルカリ性洗剤は表面を侵します。

■ 施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取り扱いによっては異状腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

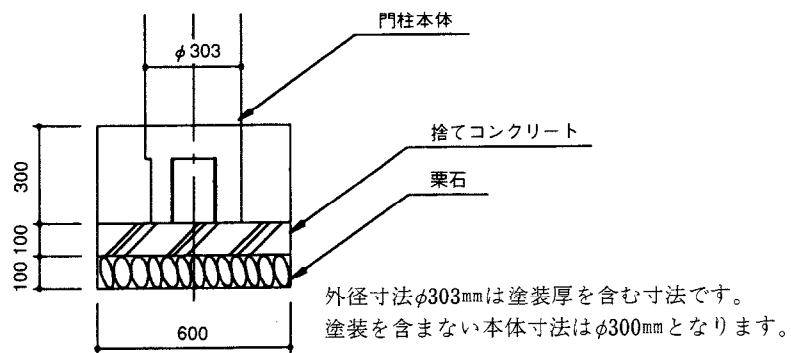
1. モルタル用に海砂を使用されまると、塩分が多量にふくまれているから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
2. モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
3. モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
4. 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面に傷を付けまると、腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。
5. アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理してください。
6. 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますのでその使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
7. 腐食の恐れのある接着剤や科学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
8. 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。

*製品表面に、汚れ、ホコリが付着しないよう施工時には十分注意して取り扱ってください。

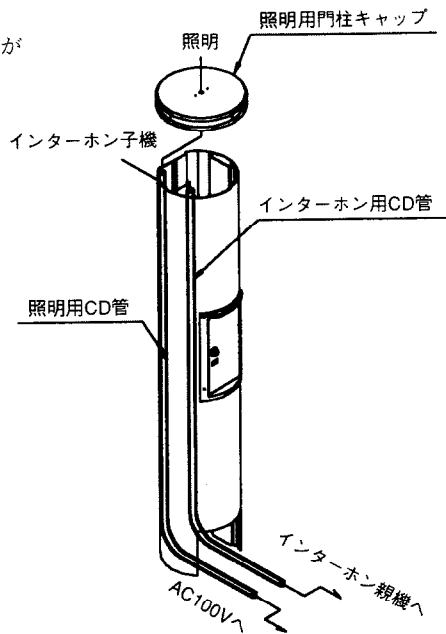
■ 施工手順

1. 門柱の建込み、及び配線

- 門柱を埋め込む際は門扉の種類により柱芯々寸法・チリ等が異なります。納まりを参考の上位置を決定してください。
- 門柱の埋め込み深さ・独立基礎の寸法等は下記を参照し水平・垂直を確認の上埋め込んでください。



- ポスト付き吊元門柱・独立門柱にはCD管(埋設管)が標準装備されています。
- 照明・インターホンを取付の際は右図を参照の上配線を行なってください。(標準吊元門柱にはCD管は装備されていません市販品をご使用ください。)

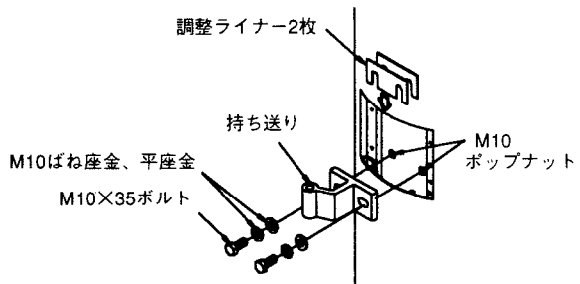


注) 配線・結線は必ず電気工事店様にご依頼ください。

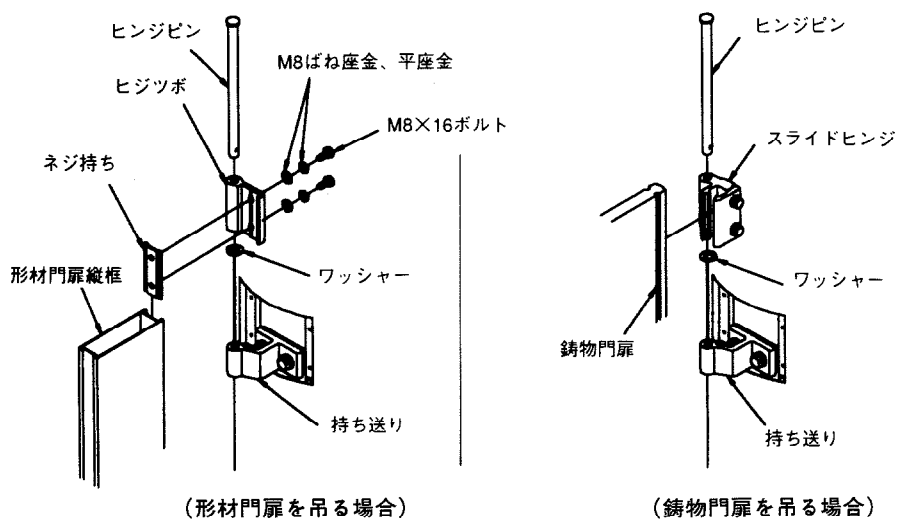
注) 配線コードの絶縁は確実に行ってください。

2. 吊元門柱のヒンジ取付

- ① 本体のヒンジカバーを取りはずし持ち送りを所定の位置に取付けてください。又、門柱本体と持ち送りの間に調整ライナーを2枚はさみこんでください。

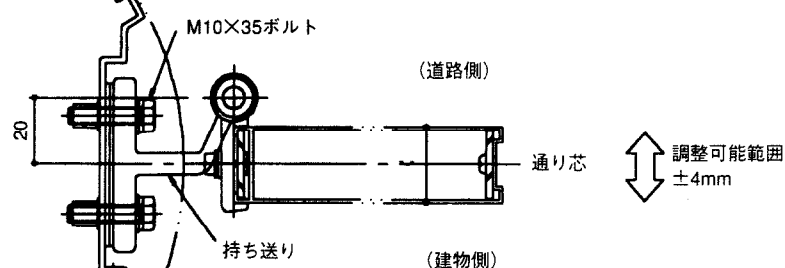


- ② 門扉を吊り込んでください。



- ③ 納まりを参考の上、門扉を吊り込んだ状態で召合せ部チリ・通り芯の調整をしてください。

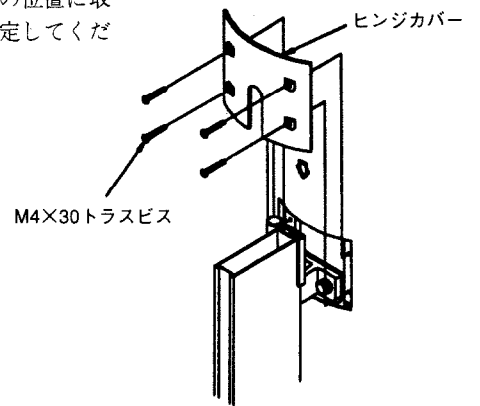
● 固定用M×35六角ボルトを緩め、持ち送りを内外に調整して通り芯を合わせてください。



ヒンジの向きが建物側を向いている場合「内開き」となります。「外開き」にする場合は向きをかえてください。

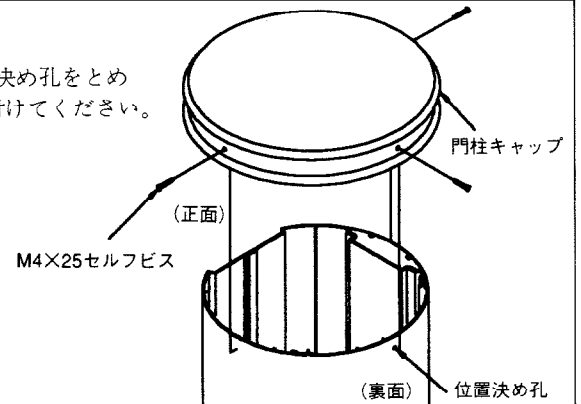
● 召合せ部のチリはライナーの増減により調整を行なってください。(ライナーは各2枚余分に入っています)

- ③ 調整が完了しましたらヒンジカバーを所定の位置に取付け割ピンをヒンジピン下部に差し込み固定してください。



3. 門柱キャップの取付け

M4×25セルフビスにて門柱裏側の位置決め孔をとめた後両側面を現物合わせにて同様に取付けてください。



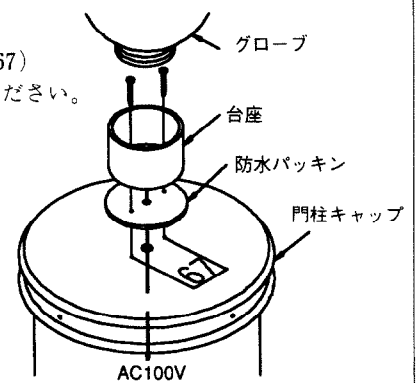
4. 照明器具の取付け

照明取付けの際は照明用門柱キャップ(取付けピッチ=67)を使用し、あらかじめ配線済みのAC100Vへ結線してください。

注) 配線・結線は必ず電気工事店様にご依頼ください。

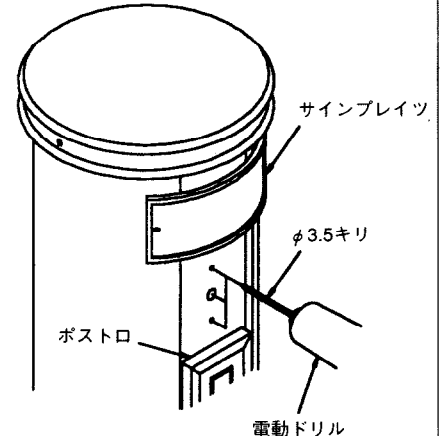
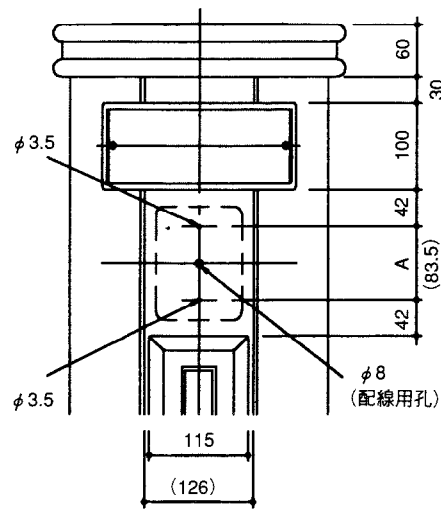
注) 配線コードの絶縁は確実に行なってください。

注) 詳しくは照明の取付け説明書をご参照ください。



5. インターホンの取付け

インターホンは市販のものを使用し、現場加工・現場取付けとなります。又、そのインターホンの大きさ取付けピッチを確認してから下記参照の上取付けてください。



φ3.5キリにて一度3箇所を孔明けし、その後配線用孔φ8を1箇所を孔明けしてください。

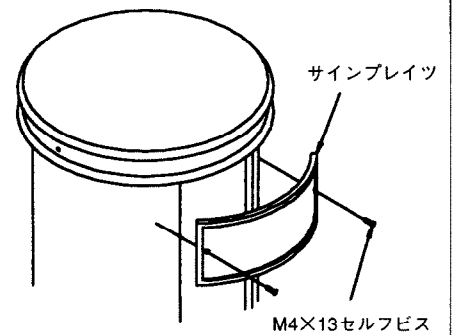
取付けピッチA寸法は1ヶ用スイッチボックス用であればA=83.5mmとなります。その他の場合はそのインターホンの取付けピッチに合わせてください。

注) インターホンは露出型のみ取付け可能です。

注) インターホンの最大取付けサイズは150×120mmのもの迄取付け可能です。

6. サインプレイツの取付け

上記取付け位置を参照の上、表札シール貼り付け後現物合わせにてセルフビスで取付けてください。



■ ダイヤル錠の開け方について

開錠番号シールがポスト取り出し口表面とダイヤル錠裏側貼り付けてあります。

その番号にあわせて開錠してください。

又、施錠する場合は任意の位置にあわせてください。

郵便受箱開錠番号

3 5

例) 右回りで3にあわせ、左回りに5にあわせると開錠します。

注) シールは番号をメモに控えた後はがしてください。

